

かわにし

議会だより

第152号

2023

1.15



川西町議会H.P
QRコード

災害復旧・めど立つ	2
政策提言に回答	4
4人の議員が町政をたず 一般質問 ...	8
いいねかわにし 街かどインタビュー ...	14

みずのと う
癸卯年に飛躍

犬川地区新生児お祝い事業 P15に関連記事

発行／山形県川西町議会

編集／広聴広報常任委員会

印刷／有限会社 笹原印刷

災害復旧。めど立つ

12月定例会のあらまし

12月定例会が、12月6日から19日までの14日間の会期で開催された。
第1日目に、「川西町職員の定年等に関する条例等の一部を改正する等の条例」の設定、「川西町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例」の制定ほか条例1件、町有財産の無償譲渡および令和4年度各会計補正予算6件を一括上程し、常任委員会、予算特別委員会に付託した。
第2日目に4人の議員が一般質問を行い、職員定数、

デマンド・公共交通、大雨災害対策、インボイス等について町政をただした。
第3日目を以降、常任委員会、予算特別委員会分科会を開催し、各議案を審議した。
最終日に、付託した条例等4議案、補正予算6議案を原案通り可決した。追加提案された「川西町特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例」1件を可決し閉会した。
今定例会の傍聴者は7人だった。

物価高騰 施設費かさむ

補正予算は、8月3日の大雨被害関連では、災害復旧事業や被災事業者支援、農業機械整備・修理補助金などで、ほかに物価高騰に伴い、小中学校など町施設の燃料費、電気料の値上げ分等が計上された。
災害復旧では、農業施設の被害、ため池、農道、農地、水路被害など450件あり、それぞれ対応を進めるも
国へは、21件8億3200万円を申請（一部手続き中）。1月中旬には補助金額が決定し、設計、工事に入る。工事の発注は令和5年度になる。
県へは、業務委託として、鏡沼地区（大光院堤1号、新八堤下流水路）、大沢地区（大沢堤1号、3号）災害復旧工事がある。ほか
に、土地改良区管理分10カ所、町直営分5カ所などがある。
令和4年度では、主なものとして、大光院堤1号の実施設設計費として1127万円が計上された。なお、本町が激甚災害の指定を受けたため、災害事業費の国庫補助率がかさ上げされる見込みで、当初見込みより1億円ほど増える見込みである。

令和4年度各会計補正予算

会計別	歳入歳出予算	議決の内容
一般会計(第7号)	143億1150万円 (7億2408万円を追加補正)	全員賛成により可決
下水道事業特別会計(第4号)	4億8640万円 (57万円を追加補正)	全員賛成により可決
農業集落排水事業特別会計(第2号)	9844万円 (67万円を追加補正)	全員賛成により可決
介護保険事業特別会計(第3号)	20億9869万円 (765万円を追加補正)	全員賛成により可決
後期高齢者医療特別会計(第2号)	1億9724万円 (17万円を追加補正)	全員賛成により可決
水道会計事業(第4号)	4億6336万円 (171万円を追加補正)	全員賛成により可決

一般会計補正予算の主な内容

(歳出)	
一般職員給与	1797万円
冬期交通確保事業	5000万円
小規模農地等災害緊急復旧事業	1億674万円
農業施設災害復旧事業	2億6090万円
民有林林道災害復旧事業	6735万円
(歳入)	
農業用施設災害復旧費国庫補助金	2億4906万円
林業施設災害復旧費国庫補助金	6079万円
農地災害復旧事業債(町債)	5150万円

質疑

総括質疑

町債と激甚災害復旧補助金との関係性は

神村 建一議員
災害復旧事業は、激甚災害の指定を受けて国の補助金がかさ上げされるが、補正予算書の地方債補正との関係性はどうか。

財政課長
地方債補正は、目的ごとに公共土木施設、農業施設、林業施設、農地災害復旧事業分としてそれぞれ増額を予定している。歳出予算に計上した災害復旧事業費の増額

補正に対し、国の補助金で賄いきれない分を町債として借入の増額を予定するもの。

復旧予算ほどの程度必要か

橋本 欣一議員
8月3日の大雨被害は約50億円との報告があり、専決処分的一般会計補正予算第3号から12月議会の補正7号まで計上され、復旧に当たられている。関係者のご苦労に感謝する。現在までの予算で、復旧のどの程度までの予算付けになったか。

財政課長
被害の全容が判明しないため答えられない。

橋本
激甚災害指定との資料高騰分も該当になるのか。

財政課長
国からの情報がないため、情報収集する。

分科会質疑

省エネ庁舎の電気料が増加しているが原因は。

財政課長
大雨対策の業務量の増加と電気料金の契約改定によるもので、約16%増である。

意見
庁舎内の温度管理なども適切に調整し省エネを図ること。

問
公用車の取得が予定されているが更新時期か。

財政課長
ハイブリット4WD車や軽ワゴンを予定している。新車納期が大幅に遅れているため、前倒しして発注する。

問
町内のマイナンバーカードの交付率はどうか。

住民課長
11月末現在53パーセント。県52・7パーセント、国53・9パーセントで、



エアコンコントローラーでこまめな温度設定

意見
平均の交付率である。近隣市町の普及方法なども研究し、交付の促進と個人情報保護を図ること。

問
大雨による被災事業者に対して支援事業があるが、対象は何業者か。

産業課長
被災した商工会の会員事業者は62事業者で、直接郵送で周知する。

意見
商工会会員のみにならず、被災事業

業者に広く支援事業の内容の周知を図るよう。

問
国のeMAFFシステムの活用で、農業者個々に各種申請手続きが可能となる。周知と普及はどうする。

産業課長
申請手続きの環境整備中である。大幅な変更が見込まれるため、情報収集と農業者の支援にあたるように。



大雨被害を受けた長堀堰

国からの情報がないため、情報収集する。

国からの情報がないため、情報収集する。

商工会会員のみにならず、被災事業

情報収集と農業者の支援にあたるように。

策言 提言

10月28日、10回目となる令和4年度の政策提言書が鈴木議長から原田町長に手交された。町民との意見交換会をもとに政策提言の予定であったが、3年続きのコロナ禍で開催できず、各常任委員会で協議し、政策提言にまとめた。これに対し、原田町長から12月5日回答があった。

1 安全・安心なまちづくり

- 1 危機管理体制の再検討と消防団員活動の充実を図ること
- 2 自治会における諸問題を調査分析し、多様な支援体制を整えること

回答

近年、自然災害が頻発化・激甚化し、地域防災力の重要性が高ま



危機管理一翼を担う消防団の充実を

っており、安全安心課を中心に、危機管理体制の強化に努めている。防災対策事業に加え、災害時を想定した体制の強化に努めていく。

消防団は、十分な団員の確保が困難な実態があり、組織の在り方を検討する。

消防団は、地域防災力の中核として欠くことのできないものである。車両導入による機動力の増強と再編等を進め、持続可能な組織確立と充実に努める。ハザードマップは、国・県の情報を反映し、現在のマップの他、ため池、内水氾濫エリア掲載など、より詳細なマップを作製する。

2 計画的な公共施設の管理と適正な財政運営

- 1 公共施設等総合管理計画の適正な執行に努めること
- 2 メディカルタウンおよび地域振興拠点整備の適正な財源確保と財政運営を行うこと
- 3 中心市街地活性化のグランドデザインを早急に示すこと

回答

令和13年度まで令和3年度当初の延床面積から8%削減することを目指している。

今後、学校施設や町民総合体育館等の大規模改修など数多く控えており、多額の財政負担が見込まれることから、財政負担の軽減と平準化を図り、効率的で効果的な維持修繕に努めていく。メディカルタウンと地域振興拠点整備は、両事業とも大型プロジ

エクトであるため、地方創生推進交付金をはじめとした国・県の交

付金等、有利な財源について研究を進め、活用を検討する。同時に、地方債の償還見直しを含めた財政計画により、適切な財政運営を図っていく。



川西中も38年、効率的な維持管理を

3 災害に強い農業用水利施設

- 1 関係機関・団体と連携を強化し、被害防止策を行うこと

回答

農業施設被害は、県や農業団体と連携し、公共災害復旧事業や県と協調し実施する小規模農業等災害緊急復旧事業等を活用し、農業者の負担が最小となるよう努めながら復旧を進めている。

また、農業用施設の被害防止にあたっては、



早期の災害復旧を = 長堀堰

4 子育て世代への支援の拡充

- 1 保護者負担が生じないよう町で対応すること。また、保育料の完全無償化に向け県に働きかけること

回答

本事業については、山形県が子育て世代の負担軽減を目的として支援を行うものであり、本町としても事業の趣旨に則り、国の保育料無償化施策に含まれない所得階層の第3階層および第4階層の無償化に取り組んでいる。今後、本町独自に所



保育料無償化で子育て充実を

得階層の第5階層から第8階層にまで無償化の対象拡大は、国・県および近隣自治体の動向を注視しながら検討していく。国・県に対しては、本提言を含めた子育て支援全般にわたり、様々な機会をとらえ協議、要望を行っており、今後も継続していく。

5 持続可能な農業の実現に向けた支援

- 1 農業関係団体等に対する支援体制を整えること

回答

農事実行組合をはじめ農業関係団体役員には、農業施策の円滑な遂行のため、町と農業者をつなぐ重要な役割を担っており、強い農業づくりには欠かせない。課題の、人材の確保は、農業全体の担い手不足が根底にあり、まずは農業の担い手の発掘、育成に努めていく。また、役員の負担軽減や、多様な方の役員体制や組織の在り方も課題である。

農業関係団体の支援は、地域農業が十分に機能し得る枠組みのため、幅広く意見聴取するとともに、山形おきたま農業協同組合等、関係機関とも連携を図りながら検討していく。



農業者との連携で、強い農業に

次は委員会レポート

委員会 レポート

メデイカルタウン分譲進む

総務文教常任委員会

商業区域に令和4年11月10日にツルハドラックが開店。隣ではスーパーヤマザワが令和5年春の開店に向けて工事中で、店舗の全体像が見えてきた。

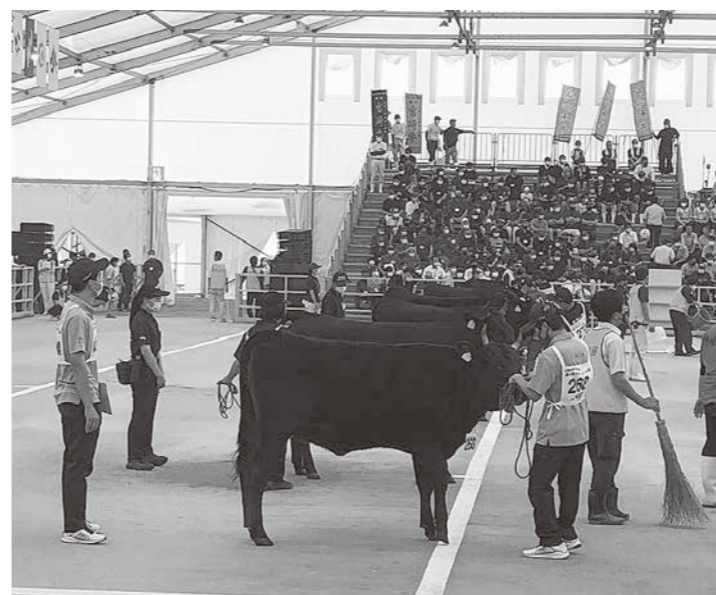
住宅区域北側の定住促進宅地整備事業の宅地分譲では、全17区画中10区画の申し込みがあり、内6区画で本契約を結んだ。

川西中学校改修工事の説明があった。昭和59年の開校で既に38年がたち、屋根、シート防水の劣化、外

壁面、シーリング材の経年劣化等が確認され、早急な改修が必要になり、10月28日の臨時議会で補正予算を上程した。

全国和牛能力共進会鹿児島大会 好成績

産業厚生常任委員会



置農生と優等賞となった牛「ひかり号」＝鹿児島県

令和4年10月6～10日、5年に一度の第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会が開催された。7月の県予選を勝ち抜いた置賜農業高等学校と和牛生産者の牛5頭が出場し、置賜農業高等学校は24校中優等賞14席の好成績をあげ、種牛の部では5頭全頭が優等賞を受賞するなど輝かしい成果をあげた。

「新たな協同」と称した鹿児島県くみあい開発（株）とAコープ鹿児島が連携し農畜産物の販売機能の拡大や6次産業等加工品に力を入れている、「たわわタウン谷山」を視察した。

近郊農村生産者3000人が加入していて、主要商圏内2万4千世帯の大型消費地にあり、安定した需要が見込まれる施設であった。

広い店内に農産物の品数が豊富に陳列されていて、消費者目線を開発した工夫が随所に

意識した工夫が随所に見られた。

衣服店、ガソリンスタンド等が隣接している、日常生活に必要なものが揃っている。多世代間交流で「たわわタウン谷山」が結ぶ街づくりにつながる取り組みであった。

本町においても町、企業、商工会等の連携協力を密にして一層のスキルアップをしていかなければならない。

12月定例会の議決状況

議会基本条例の規定により賛否の分かれたもののみ、各議員の議案に対する賛否状況を報告する。

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
議員名	井上 晃一	遠藤 明子	渡部 秀一	吉村 徹	島貫 偕	欠 員	伊藤 進	神村 建一	橋本 欣一	定 秀夫	高橋 輝行	欠 員	寒河江 司	鈴木 幸廣
議第88号 川西町特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例(期末手当分)	×	○	○	○	○		○	○	○	○	×		○	
議第91号 川西町特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例(議員報酬)	○	○	○	○	○		○	○	○	○	×		○	

他の議案はすべて全員賛成でした。○は賛成、×は反対、-は欠席。議長は賛否に加わらない。

特別 委員会

置農 置賜農業高等学校存続に関する特別委員会

期成同盟会の立ち上げに向け準備を進める予定だったが、コロナ禍の影響で遅れている。今後、令和5年1月中に協議・検討し、期成同盟会準備会をリポートでの会議を含め、進めていく。

菅沼峠 主要地方道米沢飯豊線菅沼峠整備に関する特別委員会

令和4年8月22日から9月1日の期間に、関係県議会議員へ陳情要望活動を行った。

8月の大雨災害で国道113号が通行止めになり、人工透析患者の輸送に、小国町から飯豊町に繋がる九才峠から、川西町への菅沼峠が迂回路として利用され、県の関心も広がった。

緊急時のことも考慮して整備を進めていくべきと協議した。

中心市街地 中心市街地活性化調査特別委員会

令和4年12月8日に第7回小委員会を開催し経過報告と今後の進め方について協議した。町が示す、地域振興拠点施設整備事業の実

実施計画と並行して中心市街地の調査を行うため、委員会で岩手県紫波町中央駅前都市整備事業の行政視察を行うこととした。

時 会 臨 議

低所得者に5万円

令和4年10月28日の臨時議会において、電力、ガス、食料品等価格高騰緊急支援給付金として7270万円を計上し非課税所得者へ一律5万円を支援する。燃料費用支援事業として1人4000円を全世帯に給付する。

川西中学校の雨漏り修繕や経年劣化の修繕、内部設備改修に2000万円を追加補正として計上した。

農林水産事業費で畜産業費の配合飼料高騰対策支援事業として953万円を計上した。

計 報

伊藤 寿郎 議員



伊藤寿郎議員が11月8日に逝去されました。

伊藤寿郎議員は、平成27年4月に初当選、以来2期連続当選され、7年6カ月の議員活動で、令和元年5月に議会広聴広報委員長に選任、令和3年1月に議会副議長に就任され、本町議会の機能充実に向けて手腕を発揮していただきました。

12月定例会本会議冒頭で黙とうの後、渡部秀一議員が追悼の言葉を送りました。心よりご冥福をお祈り致します。

享年57歳
合掌

次は一般質問

子育て

子どもの車内置き去り防止対策は

町長 — チェックシート等の活用を図っていく

神村 バスなど車内に子どもが置き去りになり、死亡する事故が相次いでいる。置き去りの見落としを防ぐセンター等の安全装置は、来年の4月から設置が義務付けられるが、本町としての対応はどのように考えているか。

町長 国の補正予算を受け正式な通知があり次第、町立幼稚園バス6台の安全装置設置に関わる町の補正予算を準備していきたい。

神村 保育士1人あたり何人の子どもの見ると、国の配置基準は主要国に比べ低いと言われている。1人の保育士が同時に複数のことを行い、見落としが発生しやすい環境にあるため、改善する必要があるといわれている。本町の現状は、

町長 設置までの期間は、チェックシート等の活用を図るなどの安全対策を講じていきたい。

神村 保育士等の配置基準は、年齢ごとの乳幼児数に応じて保育士または教諭の配置数を決めるもので、国の基準は0歳児の場合3人に1人、1歳児および2歳児の場合6人に1人となっている。町立幼児施設では、

神村 旧東沢小学校および旧高山小学校の活用事業がそれぞれスタートし、オープンに向けて準備が進められているが、その進展は順調か。



神村建二 議員



令和5年度から園児バスに安全装置設置が義務付けられる

町政をただす



4人の議員がするどく一般質問

定例会第2日目に一般質問が行われ、4人の議員が町政について質問しました。(発言順)に掲載します。

P9	神村 建二 議員	<ul style="list-style-type: none"> ① 子どもの車内置き去り防止対策 ② 旧東沢小学校利活用事業の進展 ③ 旧高山小学校利活用事業の進展
P10	橋本 欣一 議員	<ul style="list-style-type: none"> ① 町職員の定数と会計年度職員の処遇改善 ② 公共交通について ③ 8月大雨災害復旧
P11	吉村 徹 議員	<ul style="list-style-type: none"> ① 本町のインボイス制度導入 ② 8月3日からの大雨の対応について
P12	遠藤 明子 議員	<ul style="list-style-type: none"> ① 地域公共交通の今後 ② 雪対策について

一般質問は、議会ホームページの録画中継によって見るすることができます。(https://www.town.kawanishi.yamagata.jp)

まちの未来が見える(12月定例会の傍聴者は7人)
議会傍聴においでください
次回定例会は3月です

どなたでも傍聴できます(事前連絡は不要です。役場3階においでください)
 定例会本会議、予算特別委員会はNCV、インターネットで生中継。議会フェイスブックもご覧ください。



川西町議会FB QRコード



川西町議会HP QRコード

一般質問

人事管理

定年延長で職員数は

町長―現状維持をしつづける



橋本欣一 議員

橋本 役場職員の定年が10年間をかけた65歳に延長される。新採などを考えれば現職員数をどうするのか。また、現在の職員数は199人だが、会計年度任用職員（臨時、パート職員）約100人が加わり事務執行がなされている。同じ仕事をしながら低賃金に抑えられ、不安定な身分で生活不安や意欲が出ないなどの声があると

言われている。必要人材は確保し、十分な事務体制を整える必要があるのではないかと。町長、現状維持をしつづける

町長 多様化する行政サービスに応えるには職員確保が必要だが、人口減少の中では増員は難しい。定年延長完了までは過渡期となり、60歳以降の働き方の選択肢が増えるため、職員数は見込みづらいため。会計年度任用職員の待遇については、

国では勤勉手当の支給も検討中で、国の動向に合わせていきたい。公共交通の確保は

橋本 山交バスの運行が廃止される説明があったが、町外への移動手段が一つなくなる。米坂線は8月の大雨で一部分の区間運行であり、デマンドに関する情報は町外利用ができない。今後の地域交通の在り方は。

町長 デマンド型乗合交通の広域運行を含めたさらなる充実を検討する。米坂線の復旧については継続してJR・国に対して要請していく。

橋本 長井市長が米坂線を山形鉄道へ業務委託すると報道されたが。

町長 説明を受けていないので回答できない。

8月の大雨被害復旧は

橋本 大雨災害復旧の遅れと住民説明がないが進捗は。

町長 国の災害復旧事業の補助を受け、業の補助を受けるため、災害査定を受けるなど国のスケジュールもあり時間がかかると。

橋本 大光院堤の復旧と下流域の排水路整備は。

町長 全長200メートルの内180メートルを現在の強度基準で修築する。より強靱な防災対策が必要で、小松地区中心部への被害防止を最優先し、内山沢エリアの総合的な排水対策を講じる。



定年延長 働き方はどう変わる

インボイス制度の導入はどうなっているか

町長― 適格請求書発行事業者の登録を行っている

インボイス

吉村 令和5年10月1日から導入されるインボイス制度（適格請求書等保存方式）の本町導入はどうなっているか。

町長 この制度開始にあたり、売り手側の立場として、既に消費税の申告納税を行っている水道事業会計、下水道事業特別会計、農業集落排水事業特別会計に加え、一般会計および介護保険事業特別会計の5会計について、適格請求書発行事業者の登録を行っている。

吉村 町が発注する公共事業、軽微な保全工事等の免税事業

者への対応については。

町長 買い手側の立場では、工事や委託業務の発注、物品の購入などの代金は課税事業者、非課税事業者問わず消費税を含んだ代金の支払いとなり、インボイス対応の請求書とこれまで同様の請求書が混在することになる。

吉村 公営企業会計の上下水道料金、諸工事等に係る対応は。

町長 水道事業会計は上水の売り手であるため、正確な適用税率や消費税額等を請求書や領収書等で伝えていく必要がある。諸工事については、相手

方が免税事業者や適格請求書発行事業者の登録を受けていない場合は、仕入課税控除は受けられないことになり、町の負担が生じる場合が想定されることから、事業者の方々には、インボイス制度の周知広報など理解浸透に努めていく。

吉村 本町各会計への影響は。

町長 新たな対応となるため、今後も情報収集に努めていく。

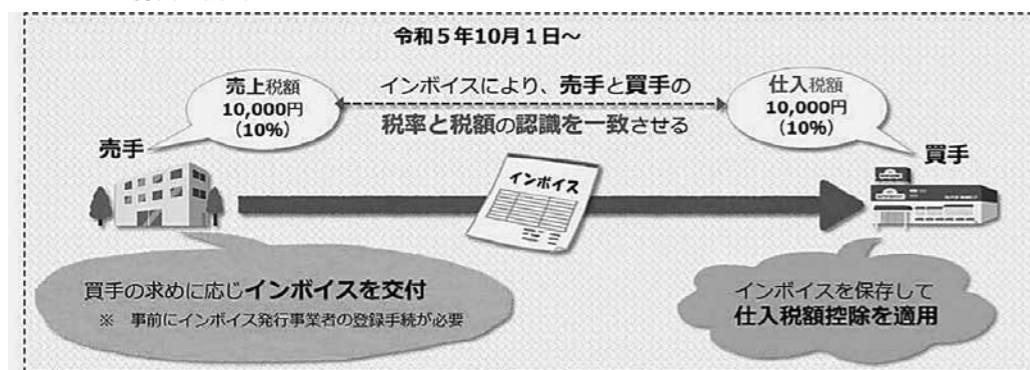
8月3日の大雨の対応では

吉村 農業関係大雨被害復旧に向けた取り組みは。

町長 小規模農地等災害緊急復旧事業については、多面的機能支払交付金事業の地域保全隊への説明会や、町報、農事実行組合で

の周知を経て、現在およそ320件の申請を受け付けており、各被災地域で復旧作業が進んでいる。

インボイス制度の概要



適格請求書発行事業者登録は令和5年3月31日まで

いいね！かわにし 街かどインタビュー

自給電力の状況
本町のエネルギー政策については、本誌令和4年1月15日号に、「電力の自給自足を」として掲載した。公共施設の太陽光パネルは、防災拠点施設の非常用電源確保のため、平成25年度に小松小学校、平成27年度に東沢活性化センター、フレンドリープラザに設置し、蓄電設備の整備も行った。また、新庁舎でも同様に災害時の非常用電源の確保のため設置したものである。

発電した電気は、役場では駐車場の照明7基、東沢活性化センターでは平常時の事務室および小ホール、和室の電力用としている。小松小学校では平常時の校舎内の電力用。フレンドリープラザでは、事務室およびロビーのコンセント、平常時は複合コピー機等で使用している。電気そのものは自己放電すること、蓄電池に常時充電しておくことは現在の蓄電池の材質上、劣化を早めてしまうことにもなるので、適宜に使用と充電

自給電力の状況は 町内施設のソーラーパネルは



かわにし未来ビジョン（第5次川西町総合計画）後期基本計画で示され、「ゼロカーボンシティ宣言」を行い、脱炭素社会形成への取り組み、エネルギーの地産地消につながることを、災害時の非常電源確保に公共施設へソーラーパネルを設置した。エネルギーの地産地消につながることを、災害時の非常電源確保に公共施設へソーラーパネルを設置した。エネルギーの地産地消につながることを、災害時の非常電源確保に公共施設へソーラーパネルを設置した。



非常用電源になるソーラーパネル = フレンドリープラザ

今後の展望
公共施設等における再生可能エネルギー導入の事業展開は、まだまだこれからである。燃料高騰の対策等も町民から求められていることであり、多様な可能性のある再生可能エネルギー事業の進展を図るべきである。

表紙の写真
犬川地区では地区内の新生児8人に注連飾りと絵本を祝品として贈っている。この事業は子どもたちが健やかに、たくましく育つことを願い、継続して行なわれている。子育てをしている若い人にとっても、この取り組みは少なからず励みとなるものです。今までの努力が実を結び、勢いよく成長し飛躍するような年とされる「癸卯」年に、将来に向けて、すくすく元気に育ってほしい。

次はインタビュー市民の声

浦田 優子さん(玉庭)
紅大豆納豆や玄米ぼんせんなどを製造販売しています。地区では高齢化が進んでおり、足の確保が必要です。買い物弱者が気軽に、自由に利用できる公共交通を確保してほしいですね。

伊藤 藤夫さん(中郡)
食は、人間の生き方そのものであると痛感しました。有機農業を行っているが管理は大変です。有機農業推進の方向ですが、より施策として、例えば転作の有機カウントなども復活して有機を推進してほしいと思います。

村岡 謙二さん(玉庭)
オーガニックビレッジ推進協議会の設立で有機農産物の生産・流通が促進されることは歓迎できます。多くの町民に有機農業を意識してもらえようという目標を掲げてほしいですね。置賜農業高校を有機の拠点としてもいいのでは。

黒沢 恵子さん(吉島)
島貴美恵子さん(吉島) 食生活改善推進協議会のイベントに参加しています。久しぶりの会員との交流で楽しく過ごしました。雪のシーズンで、除雪ルートの変更があり不便な点があるなど、身近な要望を聞き、実行してほしいと思います。

菅野明日香さん(小松)
最近、子どもたちの元気な声が聞こえてこないように感じます。企業誘致で、県外に転出した若者が働ける環境を整え、戻ってきてもらう取り組みを。議員のみなさんと直接お会いしながら懇談会ができるといいですね。

遠藤 米子さん(中郡)
人の往来がなく、車社会で歩いている人はほとんどいないけれど、スパーはたくさんの人で込み合っています。街中は暗い感じがしますね。役場跡地に整備される施設が、便利で誰もが利用できる楽しい施設になることを期待しています。

愛の兜折り紙ボランティアの皆さん
荒瀬美千代さん(大塚) 五十嵐和子さん(小松) 鷲尾 さよさん(小松) 愛の兜やダリヤの兜を折って学校や幼稚園、老人施設などに訪問して喜ばれています。活動を始めて10年以上たちます。置賜で70人ほどの会員がいます。川西では10人ほどです。認知予防や機能回復の効果もあります。兜を折ってプレゼントし、喜ぶ顔が楽しみです。観光面でも小さなプレゼントが大きな効果を上げ、地域貢献になっていきます。若い折り手のボランティアを募集しています。お子さんと一緒に一度遊びに来てください。

表紙の写真を届けてください
犬川地区では地区内の新生児8人に注連飾りと絵本を祝品として贈っている。この事業は子どもたちが健やかに、たくましく育つことを願い、継続して行なわれている。子育てをしている若い人にとっても、この取り組みは少なからず励みとなるものです。今までの努力が実を結び、勢いよく成長し飛躍するような年とされる「癸卯」年に、将来に向けて、すくすく元気に育ってほしい。

12/17(土) フレンドリープラザで開催の「食」と「農」と「健康」を考える 会場を中心にインタビューしました。 感染対策に十分配慮して行いました。

町民の声

活気ある町に



プロフィール

奥村 真紀さん(おくむら まき)

川西町大字高豆菟
家族構成は、夫と息子(小3)、
父母の5人家族
出身地 宮城県大崎市
趣味は映画や音楽鑑賞

犬川地区にお住まいの奥村真紀さんに子育てや町に望むことをお聞きしました。

出合いのきっかけは？

宮城県大崎市古川の出身です。誰ひとり知り合いもない、初めての土地でしたが、マッチングアプリがきっかけで主人と出会いました。人と話をするのが好きで積極的な性格の私は、主人と話をしているうちに、意気投合し仲良くなりました。

仕事や家事の面では？

町内の商業施設で働いています。以前にもサービスマンの仕事経験があり、お客様と対話をしながら楽しく働いています。

主人は測量関係の仕事で、朝早くから夜遅くなることも多いため、子育てしながら家事と仕事を頑張っています。

また、祖父母は農業を営み、野菜づくりが

子育てで思うことは？

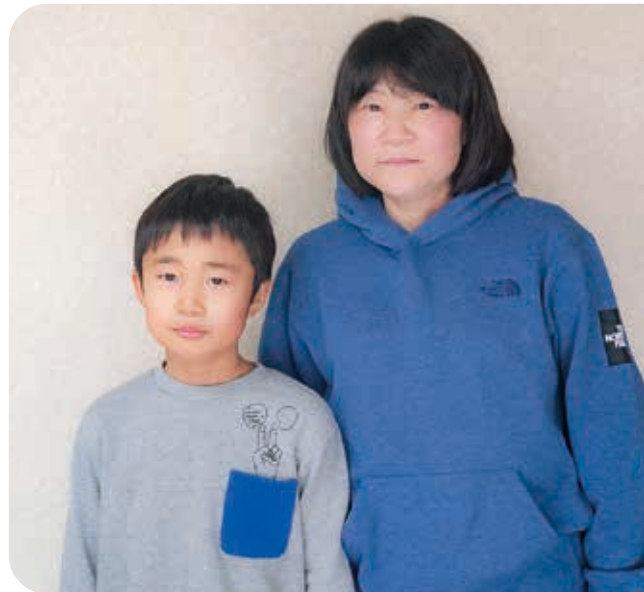
犬川小学校に近所の子ども2人と一緒に登校しています。学校まで行く途中、歩道がなく道幅も狭い箇所があり、自動車が行き交い危険だと感じます。

小学校の統合問題(学区再編)も気にかかりますね。

町に望むことは？

家で前の道路が急カーブになっていて、減速もせずスピードを出したまま走っていく自動車を見かけます。非常に危ないので交通安全の面で啓発してほしいと思います。

冬期間はバス通学できると安心できますね。また、子どもたちが遊べる屋内施設に、お母さんたちが集い交流できるスペースが一体となつた施設もあればいいですね。



子どもの成長がとても楽しみです

編集の後で

▼新年あけましておめでとうございます。「^{みずのとう}癸卯年」の今年は、飛躍向上の年と言われます。景気回復に期待するとともに、みなさんのご多幸を祈念します。▼今号の編集では編集仲間の悲しい別れがありました。仲間の思いを受け継ぎ編集にあたりました。▼今後も一層努力し町民のみなさんに愛読していただけるよう編集作業に努めます。(明子)

発行責任者 鈴木 幸廣
委員長 橋本 欣一
副委員長 遠藤 明子
委員 伊藤 進
同 寒河江 司
同 井上 晃一
アドバイザー(文章) 佐々木賢一
アドバイザー(写真) 遠藤 勝則
アドバイザー(写真) 山田 順一
齋藤 文夫